



名古屋市立大学 社会学 感想 (2021年11月4日)

(1)

「今の仕事を世界一愛し、その愛する仕事でいかに人を幸せにできるか常に考えて行動する。」というお話がとても印象的だった。就活をしていると「自分にしかできないことは何か。」ということを考えて悩むことがあるが、就いた仕事に誇りを持ち、世界一愛することは自分にしかできないことなのではないかと思い心が軽くなった。また、アルバイトや仕事を選ぶ際に労働条件や福利厚生など「会社が私に何をしてくれるのか。」という視点で判断していないか、というお話も印象に残った。確かに就活で将来を考える時に自分軸で見ている「その仕事で誰をどうやって幸せにしたいのか。」という大切な部分が欠けていたと思った。例えば、私が一番喜びを感じたり充実感を得るときは、私の行動が誰かの役に立ち、感謝された時であったことを振り返ると、人を幸せにするために動かなければ、結局自分を幸せにすることはできないというお話に非常に共感した。

また、福の神と貧乏神の話聞いて、自分で望んで入ったコミュニティや選択して得た機会だったが、いつの間にかマイナス面ばかりに目を向けて、愚痴を言ったり不平不満を周囲に話してしまったりすることはないか、改めて自分に問い直したいと思った。同じ機会を得ても、自分のスタンスが福の神か貧乏神かで、得られるものに大きな差があると感じた。貧乏神のマインドでは、その仕事に対して誠実でないだけでなく、その仕事に従事する自分の存在を貶めることに繋がり、誇りが失われ、自分の成長する可能性も自ら潰してしまうと感じた。したがって、自分の仕事を愛した上で、何か組織や仕事の問題点や課題を発見した際には、不平不満ではなく、それを発展・改良の方向に活かす方法を模索していくことが大切だと考えた。

最後に、ごまは和食に用いられる調味料で日本で生産されていると思い込んでいたが、調べたところ日本のごまの自給率は0.1%で99.9%が海外産であることを知った。また、ごまを頂いたことがきっかけで母と自宅で使っているごまも確認してみたところ、生産地が記載されていなかった。そのため、輸入時に農薬の関係で厳しい規制が課されていることや、ごまの栽培は手作業で手間やコストがかかるため国内生産量が少ないという状況を知らないまま消費していたことに気付いた。今回のように、自分が何気なく使っている商品が自宅に届くまでの経緯や作られた環境に目を向けることは非常に大切だと感じた。

(2)

講演中にたくさん、「愛」を強調していたのが印象的でした。ちょっと気を抜くと気にしてしまいがちな、人か

らの見え方などではなく、「愛の種をまいて、笑顔の花を咲かせる」という軸がしっかりしていて、ぶれない生き方はすごいし、かっこよくて憧れます。

また、就活生であることもあり、そういう志の持ち方をしている人と一緒に働きたいと思いました。多くの周りの人には馬鹿にされるような夢でも、自分が意志を持って真剣に目指す夢をまっすぐ見つめて、堂々と進んでいる姿が読み取れて、それがわたしにとっては理想的な姿だったからです。

一方で、逆ピラミッドの話は、現時点でわたしが持っている考え方と真逆だったので衝撃的でした。わたしにも自分の叶えたい志を真剣に考えた経験がありますが、「どんな人を助けたいのか」という部分はどんなに考えてもよく分かりませんでした。そのときは結局、まずは自分の理想像を、現段階の志にすることにしました。自分が自分を叶えられたら、その先で他者にも目を向けられるという考え方をしたからです。

ただ、志を継続的に考え深めていく中で、理想像自体に他者貢献が内包されているのでは？と感じることもあるので、他者を幸せにしてから自分が幸せになれるというのは、そうなのかも、とも気づきました。

最後に、今日の講演中に分けていただいた学びが、ほとんどご自分で考えたどり着いて、しかもそれを信じて行動した結果、成功しているという姿に、とても尊敬の気持ちを持ちました。

(3)

深堀さんのお話を聞いて一番印象に残ったのは、「自分が幸せでない人と人を幸せにできない」のではなく「人を幸せにできないと自分が幸せになれない」ということだ。私は今、勉強、バイト、人間関係など悩みが尽きず自分のことしか考えられていなくて他人のことまで考える余裕がなかった。でもそんなときに地下鉄で親子に席を譲って「ありがとう」と言われたときとても幸せな気持ちになれた。それを思い出して、幸せは一人ではなく皆で共有することに意味があるのかなと思えた。だからこれからも余裕がなくなった時こそまわりの幸せを願ってみようと思う。

もう一つ印象に残ったのは成功術2つの条件で、仕事を愛し、その仕事で人を幸せにすることを考えて行動することが大切ということだ。私は将来、特別な意思もなく薬剤師になろうとしているけど、自分の仕事を愛して世界の人たちを幸せにできるように考えながら仕事をしていきたいと思う。

(4)

今回講演会を聞いて、印象的だったことが二つある。一つ目は自分が幸せにまずなるのではなくて、周りの人を幸せにすることが大切だ、逆ピラミッドの1番下に自分を置くことが大切だということだ。二つ目は、お金は世界のためにあるということだ。一つ目に関しては今まで自分が成功する＝自分が人に指示する側に回ることではないかとイメージを大まかにもっていた。確かに先頭にたって人を引っ張り、新たなことに挑戦することが大切なことには変わりはないが、今回の話から、人についてきてもらうためにまず自分が相手に尽くす、相手を幸せにするということが大事なのだと思った。つぎに二つ目に関して、製薬の分野の自分が思っていた企業のイメージは、企業は利益のために、患者さんの多い病気を標的とした薬など利益につながるものではないと薬を作ろうとしないというイメージだ。しかし深堀さんの企業は、企業なので最終的に利益を得ることは大切であるが、南米での適正価格の取引や、現地での指導、ノウハウの伝授などまず、利益を優先としない活動をしているということとても驚いた。将来、製薬会社で働きたいと考えているが、その企業がどのようなことを目標としているか、利益の追求以外にもどのような活動をしているかなども注目してみたいと思う。

(5)

私は深堀さんの話を聞いてやはり成功する人は行動力があるなと改めて感じた。私はやりたいことを想像するのは好きだが行動に移すのに時間がかかってしまう。直したいところではあるが、行動することは勇気も伴うのでメンタルが強くないといけないなと感じる。深堀さんは脱サラしてゴマの道に進むというとても強い行動力の高さを持っていてとても尊敬できる。さらに、成功するには日頃から良い行いをしているから、とも言っていて納得できる話もあった。勇気を出して何事にも挑戦することが、成功への一歩であることに改めて気付かされた。深堀さんの成功する2つの鍵である世界で一番その仕事を愛すること、その愛する仕事でいかに人を幸せにする

かを実現できるように頑張っていきたい。成功して人に成功術を教えられるような人になりたい、と深く思いました。

(6)

今回の講義で一番印象に残ったことは、胡麻の味が変わったことだ。話を聞いていただけでは少し嘘くさくて信じがたかったが、実際に食べてみると本当に味が変わっていて衝撃を受けた。このような体験をすることで、思いやりや感謝は大切だということをより実感した。今まで直接会社を経営している人の話を聞いたことがなく、今回はとても良い機会をいただけたので、この講義で学んだことをこれからの生活にしっかりと生かしていきたい。話を聞いて、今の地位まで上り詰めた人が、小さなことにも感謝をしたり周りに気を配ったりしていることに驚いたが、それが何よりも大切なことであると痛感した。自分のことだけではなく他人のために動くことでいつか自分に返ってくることを、深堀さんの経験談を聞いて納得した。また、自分の会社だけではなく貧困地域のこともきちんと考え、色々な活動をされていたことにとっても感銘を受けた。私も大人になって、ある程度お金を稼ぐことができるようになって、決して驕り高ぶらず、周りを考えることができる大人になりたいと感じたが、そのようになるには普段から自分中心に物事を考えるのではなく、周りを見ることができるよう人間でいることが大切だと思った。これからは小さなことにも感謝を忘れずに生きていきたい。

(7)

今回の講義を聞いて、事業で成功した理由は、自分の幸せよりも人を幸せにすることに重きを置いて「今の仕事を愛すること」「その仕事でいかに人のことを幸せにするか」をモットーに行動なされていたからなのだと思います。今大学生で、自分の時間が増えて、趣味の時間も多くなったはずなのに、なにか足りないと感じていたのは自分のエネルギーをほかの人に還元したりすることがなかったからだと気付かされました。アルバイトや仕事を条件で選ぶことはエゴで、条件で選ばない方がいいといったことをおっしゃっていましたが、今の世の中、条件で選ぶほか、会社の選び方はないように思えるのですが、もし条件で選ばないとするならばどういった方法で仕事を選べばいいのか、そして会社側はどのようにして従業員を選ぶとよいのか、詳しい意見がありましたら是非知りたいと思いました。逆ピラミッドとピラミッドのバランスが大事だとおっしゃっていて、確かに、従業員が社長を尊敬して敬い、社長も従業員をたいせつに尊敬しあうことで、対等な立場で意見を交換できるような職場は理想だし、今問題になっている、パワハラなどのハラスメントも未然に防げるのではないかと思います。自分の核となる考えを固めて、それに基づく選択をし続けることが、周りの人を引き付ける要因にもなりうるのだと感じました。

(8)

今回の講義を受けて、まず愛を持って生きることがいかに重要か学びました。私は愛よりもお金がないと生きていけないと思っていました。同じ様に考えて生きている人が多いと思います。しかし、愛を持って仕事をする事、愛を持って人と関わっていくことで、より良い世界にしていけるのだと学びました。今回特に印象に残ったのは「自分を自分で貧乏神にしていないか」という言葉です。これを聞いて、まさに私のことだと感じました。いつも「面倒くさい」「疲れた」「眠い」「帰りたい」などのネガティブな事ばかり言ってしまいます。私は今のままでは自分自身を貧乏神にしまっているもので、今まで言ってきたネガティブな言葉を少しずつでもポジティブな言葉に変えることが出来たら、その言葉を聞く周りの人も少しだけでも明るい方向に考えて幸せが増えていくのではないかと考えました。また、「人を幸せにしなければ、自分が幸せにはなれない」という言葉も印象的でした。今の世の中、自分が幸せになるだけでも大変だとは思いますが、周りの人の幸せを少しでも願って生活したら自分も少しずつ幸せになれるのだと学びました。人は、人のために何かすることで幸福を感じる生き物だと私は思っています。だから、利己的になるのではなく人のために生きていけるような人を目指していくことで人は豊かで幸せなものになるのだらうと、今回の講義を通して思いました。

(9)

今回の授業は自分にとってすごく貴重な経験であった。会社の社長さんにお話を伺うことは今までもこれからも

数少ない経験だと思うし、何よりも経済学部である私にとって、会社の経営に興味があるため、このような授業に参加することができて本当に良かったと感じた。深堀さんの印象は、初めにゴマを配ったり、ゴマで世界平和を目指していたりするなど、最初は変な人だと思った。しかし、話を聞くうちに深堀さんのゴマへの愛を感じるとともに、深堀さんのような考えを持つ人だからこそ成功者にまで登りついたのでと思った。今回の授業で印象が大きく残っているのは、心から人を幸せにしたいという深堀さんの思いである。会社の社長さんというのは、傲慢で利益を重視するイメージがあったため、ここまでお客さんだけでなく、生産者をも思いやっている方がいることに驚いた。また、人を幸せにしたいという思いと共に、仕事への愛情がとても感じられた。深堀さんのお話を聞いていると、本当に心の底からこの仕事を楽しめ、愛しているのだなと思った。“ブラック企業”や“パワハラ”、“セクハラ”などの言葉をよく耳にするこの世の中で、仕事に対するイメージはつらい、大変などのイメージが大きい。しかし、お話を聞いているうえで、このような会社で働いてみたいと心から思った。それと共に、深堀さんも何度もおっしゃっていたように、これからの時代を担っていく私たちの若い世代が、このような働き方のイメージを覆していかなければならないとも思った。

(10)

福の神と貧乏神のどちらにつきたいかは、福の神と容易に想像することが出来ます。しかし、福の神につきたいと思いつつ、自分自身が貧乏神になってしまっていないかというお話がとても心に残りました。病は気からという言葉があるように、「だるい」「疲れた」「嫌だ」と思う気持ちから、事がマイナスの方向に進んでしまうこともあるなと思いました。

「自分が幸せでなければ人を幸せに出来ない」という言葉は、私も聞いたことがあります。私は、自分が幸せであると心に余裕が生まれ他の人のことにも目を向けられるので、幸せに導く事が出来るのかもしれないと理解していました。しかし、本日の講義からこれらが「依存と利用の世界」であること、権力で維持するしかない関係であることを学びました。その一方で、「人を幸せにしなければ自分が幸せになれない」という考え方は、とても謙虚な考え方であると思いました。人に対する純粋な応援や支援の気持ちが自分にも返ってきて、自分自身の身の回りも豊かになるという事なのかなと思いました。

物事を、色眼鏡をかけた状態だけで見るとはならず、自分自身がどうしたいのか、何が出来るのかをしっかりと考え行動することが大切だと思いました。出来ない、無理と否定的に考えるだけでなく、どうしたら出来るようになるのか前向きにチャレンジすることが「成功する人」になる一歩だと思いました。

(11)

今回の講演会では、お金よりも気持ちが大切であることがよくわかりました。僕も元々お金よりも気持ちが大切でだと考えているなかで、同じような考えで成功している方の意見を聞いて今後のためになる講演会だと思いました。今回の講演会の中で『お金は地球のもの』という言葉がとても印象に残っています。僕は母子家庭で育ちました。そこで少し我慢するような生活をし、母親の大変さを自らの目で見てきました。僕が今大学生としていられるのも母親のおかげです。そして将来お金を稼ぐことができたなら、僕のような境遇の人で大学を通うのを諦めてしまうような子を救いたい、と考えているため、この『お金は地球のもの』という考えを自分の中に入れておきたいです。

ボランティアをして、そこから人との縁ができて今に繋がっているとおっしゃっているのを聞いて、今はまだ参加できていませんが、学生の中に確実にボランティアに参加したいと思いました。コロナウイルスの感染拡大しているときには難しいかもしれませんが、災害ボランティアや国際ボランティアなどの活動に参加してみたいです。最後に今回の講演会で少しお金というものの考え方を変えることができでよかったです。

(12)

今回の講演会を聞いて思ったことは幸せになる成功術の2つの条件である「今の仕事を世界一愛すること」と「その愛する仕事でいかに人を幸せにするか行動すること」はとても大事なことだと思いました。仕事に限らず子供のころの習い事などに当てはめて考えてみても、親に強制的に入れられて自分はやめたいがやめられない状

況の習い事は、子供のころやっていて楽しくなかったですし、さらに幸せとは言いづらい状況だったなと思いました。逆に自分から親にやりたいと言って習い始めた習い事は楽しかったし、前者に比べて成長もより実感出来て幸せに感じるが多かったなと思います。だから、それはやっぱり子供のころだけにあてはまる話ではなく人生において「楽しむ」ということは難しいけどとても大切なのだなと思いました。いま日本の組織構図はピラミッド型になっていますがピラミッド型では上にいる人の権力で下の人を動かします。それだと伸びないのでピラミッド型と逆ピラミッド型がうまく混ざっている組織の方がより成長できる、というのが新しい視点だなと思いました。今回の講演で学んだことは今まで自分が見てきたりしたものとは少し違う視点だったので面白かったです。

(13)

教室に入った途端ゴマを手渡されて、教室内も少しいつもとは違った雰囲気を感じたので、最初は何が始まるのかすごく戸惑いながら待っていました。ゴマソムリエという聞いたことのない肩書にも驚きながら話を聞き進めていましたが、すぐに深堀さんの話引き込まれて、一時間半すごくいろいろなことを考えさせられました。

中でも、講演中何度も登場してきた「本当にこのままでいいのか」という言葉は非常に印象に残っています。売り上げを上げたいがために、思ってもないようなことを言って利益を得ようとする行動に抱いた疑問から、自分の会社の立ち上げを決意するだけでもすごいのに、それを行動に移せるのは本当にすごいことだと思いました。しかも、利益で動かないということは、自分以外の他人を幸せにできる以外にも、物事を長続きさせられるというメリットもあります。何より、実際にこれを実行して成功している深堀さんを目の前にして、このお話は間違いなく信じられる！と感じました。わたしも、損か得かではなく、自分の心に素直に向き合っ、胸が高鳴ったりワクワクが感じられたりする方を選択していきたいと思います。

今回、深堀さんの人々を楽しませる力が存分に発揮された、終始盛り上がりのある講演で、聞いていてとても楽しかったです。本当にありがとうございました。

(14)

今回の講演会で、世界のあらゆる問題がなぜ解決しないのかの一つの答えを見つけた気がした。それは、深堀さんがおっしゃっていた「愛と責任から逃れている」というワードがヒントになった。多くの経営者は自分の利益やお金の事ばかりを考えているから、他人の幸せを追求したり、痛みを理解することができない。発展途上国の人々が、汗水流して収穫した作物を商品にするよりも、危険な農薬を使わせて作らせるほうがコスパがいいから、後者を採用する。この行動は、従業員に対しての愛もなく、環境汚染などの責任からも逃れている。だから、これまでのような貧困や教育を受けることができない子供が発生するのかもしれないと考えた。深堀さんは、「まず人を幸せにすること。」と繰り返していた。それが、愛を持ち、自分の責任から逃げずにやりきることなのではないかと考えた。そうすれば、周りの人間との信頼関係や生きがいも生まれ、自分も幸せになれるのではないか。この授業は、国際協力がメインテーマだが、人としての生き方、考え方、大事なことも学ぶことができ、とても有意義な時間だった。

(15)

ゴマソムリエ深堀さんの講演を聞いて、私たちは成功する秘訣を学んだ。成功するためには、「条件」で成り立つ人間社会を意識的に変えていかなければならない。このような社会には愛がなく、自分都合でできている。条件にとらわれず、自分のためでなく他人のために生活していくことが重要であることがよく分かった。今日の講義で最も心に残った言葉は、「自分が幸せにならなければ、人を幸せにできない」のではなく、「人を幸せにしなければ、自分が幸せになれない」である。私は今まで、前者のほうを意識していたのだが、「それは自分のエゴに過ぎない」という意見を聞いて、確かにそうだなと思った。自分が幸せを感じることができるのは、自分のしたことでも人が幸せを感じて笑顔になっているところを見たときであるように思う。人々がみな他人のために想って（愛をもって）生活することができれば、他人を想う愛のサイクルができると思う。それによって、人々がみな幸せになれば、両者の関係が、利益と利用の関係ではなく、利害関係のない愛のあふれる関係を築くことが

できることがよく分かりました。さらに、悩みが発生する要因の話も心に残っている。謙虚心、感謝心、平和心が足りないところに悩みが発生することが理解できたので、常に謙虚な心を持ち、感謝することを忘れず、世の中の平和を願って行動できるようにしていきたい。

(16)

ゴマ美味しかったです。

個人的には幸せオーラ全開だと周りに人が寄ってくる(福の神になる)といったところが一番納得しました。その幸せが、他の人にうつったり、ゴマの美味しさに繋がったり、様々な人への感謝に繋がったりしているのだろうと話を聞いていて感じました。また、感謝を伝えることで、自身が幸せになるということも、やはりそういった良い運のようなものは循環しており、また次の幸せや運につながっているのだろうと思いました。実際に最後のゴマを食べたときに、味が変わったことも、こんなことを発見するのはそういった幸せに対してよく考えているからだろうとおもいました。世界を幸せに、というフレーズはまだ自分にはあまり実感がうまく湧きませんが、今日得たことを手に、少しずつ自分も達成できたら自分も嬉しくなるだろうと思いました。

(17)

今回の講演会を聞いて、夢に向かって努力することが大切だと思いました。今の世界は夢を持っている人が少なくなっていて、その原因は周りの人の影響と自分の意志の弱さだとわかりました。自分ができてないことはほかの人にもできるわけないと決めつけると聞いてその通りだと思いました。自分が本当にやりたいことをするのは無理だと勝手に決めつけてしまう人が多いとも思いました。しかし、成功している人は周りの人からの圧力に負けず、夢の兆しから逃げずに自分の夢や目標に向けて挑戦し続ける人だと知りました。今まで自分は収入が安定した仕事につけばそれでいいと思っていましたが、自分がやりたいことをしていないのに本当にずっとやっていけるのかという不安もありました。また、お金は地球のものであり自分のものでないという言葉に自分が収入にとらわれてしまっていることに気づきました。やりたいことを仕事にしている人はとても輝いているように見えます。幸せ成功術2つの条件にもあったように仕事を世界一愛し、その仕事でいかに人を幸せにするか行動することをできるようにするために、自分も本当にやりたいことをやれるように努力していきたいと思いました。

(18)

まず、先週の講義の際に、胡麻アレルギーの人はいるか先生に聞かれたので、まさかこの講演会のためだったのだと、伏線を回収させられた気分だった。

私が印象的だったのは、社長が終始絶えず笑顔であったことである。笑顔を作っているのではなく、自然とそうなっているのだと思う。それこそ講演の中で強調されていた「愛」を持って仕事をしているからなのだろう。好きなことを仕事にするのも大事だが、たとえ就いた職が好きなものでなかったとしても、その仕事を世界一愛することが大事だ、というのも非常に印象的でした。

最後に、ごまを美味しく食べるおまじないには度肝を抜かれた。やっていることはメイドカフェと何ら変わらないと私はその時思ったが、「おいしくな〜れ」は逆に不味くなるのだと言われ、一瞬だけ疑心暗鬼になった。

とにかく社長は、ごまに出会って、ごまを世界一愛し、それが自然と商売にいい効果を生み出しているのだと知った。これは、誰にでもできそうで意外と難しいことだと思う。

(19)

私は今回の講義を受けていろいろ印象に残っている言葉があります。まずは今の仕事を世界一愛すること、その愛する仕事でいかに人を幸せにするか行動するということです。私は自分が欲しいものを買うためにバイトしてお金を稼いでいます。バイトのレジでお金を渡す時、正直私はその人の生活が幸せになりますようになんて思いながら渡していません。バイトも辛いとすぐ帰りたいて思ったりしてしまいます。でも、その仕事を愛すれば仕事も楽しくなり、自分の行動で笑顔になってもらえたりして絶対自分のやりがいにつながっていくと思うので大切なことだと思いました。また、人こそ神様で、人を幸せにしなければ自分が幸せになれないということも心に残りました。私は何かあるとすぐ神頼みをしてしまいます。神様は人という考えは今までなかったけど今回

そう聞いて、確かに人との縁や関わりで世界が一気に変わったり、広がったりするので人こそ神様は確かななあって面白かったです。人は誰かと関わらないと生きていけないし、誰かと関わることで新しい発見や世界が見えてきます。その中で出会った人に感謝し、助けあって生きていくことが大事だなあと改めて思いました。

(20)

放牧された豚の方がおいしいのに、人間は檻の中にいないかという言葉がとても印象に残りました。確かに私たちは社会に縛られて、仕事や勉強を自由に楽しめていない人がほとんどなのではないかと思いました。わだまんサイエンスのような逆ピラミッド型の会社が増えれば社会が変わっていくのかもしれないと思いました。多くの行動せずに諦めている人と同じように、私も自分が経営なんて無理だろうと思っていた内の一人でした。しかし人の幸せを考えて行動すればうまくいくということ、そして実際に成功されたお話を聞いて、自分にもできるのかもしれないと思うことができました。深堀さんの「幸せ成功術」を聞き、そうはいっても利益を考えずに働くことはなかなか難しいことではないかと思いました。そして仕事をとにかく愛し、人を幸せにすることだけを考えている深堀さんに尊敬の念を抱きました。私は塾でアルバイトをしていて、常に生徒のためを思って仕事をしているつもりですが、やはり辛い、しんどいと感じてしまうこともあり、その分の見返りをお給料に求めてしまうことがあります。私も見習って仕事を愛し、人の幸せだけを考えて行動してみたいと思いました。また、ごまを何も言わずに混ぜたときと謙虚心、感謝心、平和心に基づいたおまじないを唱えながら混ぜたときに味が変わるとおっしゃったときには半信半疑でしたが、実際に食べてみるとほんとうに味が変わっておいしくなったように感じ、とても驚きました。それら3つの心と言葉は大事な物なのだと実感しました。

本日は講演をしてくださりありがとうございました。深堀さんがおっしゃった、たくさんのお言葉に感銘を受けました。自分の中でも大切にしていきたいと思います。素敵なお話をしてく下さりありがとうございました。ごまもとてもおいしかったです。

(21)

今回の講義はとても分かりやすく、また楽しかった。幸せな成功は誰しもが望んでいることだと思う。そのノウハウを吸収できてとても有意義な時間だった。特に印象に残ったことは二つある。一つ目は自分のエゴ価格を制定していることである。どれだけ儲けても自分のために使うお金の金額は決めている、服もユニクロ、GUばかりだ、という話を聞き、今まで自分が持っていた社長像が良い意味で裏切られた。しかし以前 TEDtalks で、お金の使い道について自分のためより他者のために使った方が結果として幸せになれるのだ、と言う動画を見た。それを体現しており、成功しているところを見るとあの調査結果は正しかったのだな、と感じた。二つめは、自分が幸せにならなければ他人を幸せにできないのではなく、他人を幸せにしなければ自分が幸せになれないということだ。私はずっと前者だと思っていた。しかし今回の講義を聞いて、それがいかに自己中心的であったか、また幸せの押し売りとなっていたことに気がついて、目からうろこだった。また、以前、お話の通り、ビールの空き缶が落ちて座席に座る事を避けていた事があったのだが、今回は、帰りの電車でわざと使用済み使い捨てアイマスクが落ちていた座席に座り、そのアイマスクをゴミ箱に捨ててみた。これで人が幸せになれるのかな、と考えるとこちらまで幸せな気持ちになったので、これから小さな幸せをこのようにして積み上げていこうと思う。

(22)

深堀さんのお話を聞き、何事も愛を持って取り組むことが多くの人と愛でつながることができ、また自らの成長、成功にもつながるのだとつくづく感じた。そしてやる前からできるはずがないと文句を言うよりも実際にやってみたら成功するかもしれないというポジティブな思考を持っていようと思った。深堀さんの幸せ成功術2つの条件を達成するために、まずは自分が自信をもって愛することができるような仕事を見つけたい。ただ、もし希望する職に就けなかったとしても、その仕事の長所や自分の力が発揮できる部分を見つけ、世界一愛することができる仕事にしたいと思う。そしてその仕事で人を幸せにする行動ができるよう努力したい。このことは大学卒業後、就職してからではなく、現在のアルバイトでも当てはまると考えられる。私自身今のアルバイトをして

いることはとても楽しいし、接客をしてお客様に感謝されたり、笑顔で応対していただけたりととてもうれしく感じている。だからこの仕事を世界一愛せるようになるまで突き詰めたい。ゴマの試食では、一度目に食べたものと二度目に食べたものでは本当に苦みがとれてより美味しくなっているように感じられて驚いた。そのため、当たり前のことのようで意外とできていない人への感謝の気持ちなどをいつ何時も忘れないようにしようと強く実感した。今回このようなお話を聞くことができる機会を生かし、少しずつ自分の考え方を変えていきたい。

(23)

今回の講演で、自分にとっていい人生を送るうえで大切なことをとてもたくさん学ばせていただいた。

成功する人は自分を信じた人であり、自分の人生を信じて行動しなければ何も始まらないのだと分かった。変態を極めた人が道を開くことができるという言葉聞いて、人の目や人がどう思うかを気にしてばかりいたら、自分がほんとうにやりたいことはできないのだと気が付いた。自分に正直になって、やりたいことを貫き、兆しを掴んで挑戦することの大切さをとても感じた。

働く大人を見ている私たち学生には、仕事＝“大変”“つらい”というイメージがついてしまっているが、それは損な考え方であると気が付いた。「自分の仕事を何よりも愛し、愛する仕事で人を幸せにするために行動する」という思いで仕事をしたら、自分の仕事にやりがいやほこりを感じられ、より思いのこもった仕事ができるのではないか。そんな思いを働く人みんなが持てば、もっと世の中の仕事に対する思いは変わると思うし、子どもから見た仕事のイメージも今の私たちとは違ってポジティブなものになるのではないかと思う。

そして今の日本社会は、数字やお金や地位や名誉を気にする人ばかりのように思えてしまう。大切なのはお金や数字ではなく、愛と感謝であるということは忘れてはならないことだと思った。

深堀さんの逆ピラミッドのお話を聞き、どんなに成功して儲かっている、常に謙虚で、働く人への思いやりや尊敬を忘れずに、あらゆることに感謝できるのが本当に素晴らしいと思った。私もそういう人になりたい。

また、困っている人を助けること、小さな得を積むことが、よいご縁やよい結果として自分に帰って来るのだなと思い、普段から他人のために行動することの大切さが改めてわかった。

今回の講演で、数々の心に響く言葉を聞かせていただけて、今後のモチベーションになった。将来、就活や仕事で不安なことがあっても、今日のお話の中の言葉のどれかで、立ち直れると思った。今回聞かせていただいた言葉を忘れないようにしようと思う。

深堀さん、貴重なお話をありがとうございました。とても楽しくてためになって心に残る時間でした。ごま、おいしかったです！！

(24)

今回の深堀さんの講演会を受けたことで、将来の仕事にどう向き合っていくべきなのか、成功や幸福を得るにはどのような考え方をするべきなのかということ学ぶことができた。特に、幸せ成功術でもある自分の仕事を世界一愛する事ということについては印象的であった。現在、私は塾講師のアルバイトをしているが、バイトであってもその仕事について愛する気持ちで向かい合っていくべきであると感じた。また、この愛する仕事することによって、生徒が幸せを感じるように教えていかなければならないと私は思った。これが、まず第一歩となる幸せのつかみ方なのだ気づく事ができた。他にも、行動を起こそうとしない人ほどその仕事の成功について無理と言うという事が心に響いた。何かやらなければ結果がわからないのにも関わらず、その仕事を否定してはいけなと感じたし、自分もこれから仕事をするときに、やらずに無理と言わずにまずはやってみることからが大事だということを改めて感じたお話だった。深堀さんのごまに対する愛情のかけ方や、仕事を成功させるための努力を見習って、私もこれからの人生で起きる事に全力で努力をして幸福を得られるような幸せな仕事に巡り合っていて頑張っていきたいと思うようになった。

(25)

今回の講演会を聞いて、今の時代を生きる私達は大きな夢や自分がやりたいことを諦めがちであることに気がつ

いた。私自身、せっかく大学に通っているのだから、給料が高い職業に就きたいと考えていたし、自分が好きなことを職業とするよりも、大学で学んだ知識を生かせるような仕事を選択しようと思っていた。しかし、深堀さんの「仕事に対して世界一の愛情を持つ必要がある」という言葉を聞いて、このまま仕事を「条件」で選んで、やりがいもいまいち見つからずに働いても、自分もその仕事に関わる全ての人も幸せにならないことを知ったので、これを機にもう一度自分の興味・関心が向く職業も検討しようと思った。また、深堀さんのごまへの愛情が遠く離れた国の人々にも伝わっているのをスライドで見て、愛することは国をも超える強さがあることを学んだ。利益だけを追求すると生み出せない幸せがパラグアイなどの発展途上国にあり、そこに住む彼らのことをシッパバックがあっても見捨てないという行動は今の合理化の時代にいい意味でそぐわない、これから当たり前にするべき考え方だと思った。愛を持って縁を大切にすることで、自ずと売り上げも上がっていくという言葉も、一見するときれいな事のように見えるが、深堀さんが自分の経験を基に力説してくださったので、非常に説得力があった。

(26)

今回の公演で、幸せについて、自分の職業に対してどのように向き合うべきなのか考えたことで、これからの人生で大切にしていけるべき教訓のようなものを多くを得ることができました。私を含め、多くの人は仕事、お金を稼ぐべき手段として考えると思いますが、そのようなお金や口コミのことはあえて気にせず、お客様のことを第一に考え、事業内容を改善していくことを大切に、評価やお金はあくまでもそれに追随するものであるという考えに感心しました。そしてその謙虚心、感謝心、平和心は、ごまにおまじないをして食べた時にも実感することができました。幸せをお金よりも感謝の質と量に見出すことは、まだ就職していない学生である私たちも普段の友人との交流などにおいて大切にすべきであると思いました。そして仕事につくようになってからは、「今の仕事を世界一愛すること、その愛する仕事でいかに人を幸せにするか行動すること」を心に刻んで自分の仕事に向き合っていきたいと思いました。

(27)

エゴに使う額を毎月3万円と決めているときき、すごく驚きました。会社の社長といえば、大きな家に住んでいて、ブランドの服を着ていて、高級なラグジュアリーを身につけているイメージでした。私はクラスの中で一番に登校したのですが、そのため、最初は会社の社長だとは知らずにお話をしました。そのときに感じたこととして、ごく普通の元気な男の人である、ということがあります。しかしながら、ごまとラー油を渡すときの自信に満ち溢れた顔、言葉の選び方がとても印象に残っています。

講演を通して、常に他人の気持ちについて考えることができる人だと感じました。行動に移す要因が、すべて人の幸せに通じているものでした。赤字経営で会社が傾きながらも、震災のボランティアに行っていました。自分になんの利益がなくても、パラグアイの夫婦の住む場所をなんとか確保しようとしていました。交通費を自腹で負担しながらも名市大で講演をしてくださいました。すべて人のために行動したことです。

その結果、多くの出会いや運によって成功していました。初めて、徳を積みば得になるという言葉を実感しました。正直、本人の立場になったときに、損得を計算せず、本人の通りに行動できるかは不安です。しかしながら、大きなことでなくても、普段の生活から徳を積むような行動を心掛けたいと思います。

(28)

とにかく面白かったです。最近とても個人的に、経営者の立ち位置や他メンバーへの見せ方ということに関して考える機会があり、それにも刺さってもっと話してみたいなと思いました。具体的には、逆さピラミッドで、世界が上だけドベースに合って自分が一番下にあることと、自分の仕事を世界一愛することという部分です。これは会社の規模にもよると思いますが、今回の深堀さんの会社の場合従業員さんは50人ということで、親近感があり「はい！社長やって！」といえるような関係がベストなのかなと思いました。だけど、社長が常に夢を追いかけて、仕事を楽しみ愛している姿勢によって、尊敬の対象に値しているのだなと思いました。そして活動内容に関しては、人のつながりからどんどん機会が広がり、可能性を広げていってほしいのがとてもすてきだと思っ

たし、自分が共感できる活動スタイルでした。前ある本に、人間の中でも特に日本人は感情で動かされる生き物だと書いてありました。そして実際私自身も人のつながりが言動力になっている部分はあって、心動かされるのはたいがい人だなと思います。今回の講演会では深堀さんの海外でのご活躍のお話はもちろんでしたが、個人的には経営という面ですごく魅力的で興味深いお話が聞けたと思いました。

(29)

今日の講演会では、ごまについての知識と生きていく上で大事なことを学びました。ごまに関しては、とても厳しい条件を満たさなければもう一度生産国に返還されてしまうということを知りとても驚きました。さらにそれらのごまをそこに暮らす人々は鳥の餌だと認識しているせいでそれを消費することができないと言うことも聞いて驚きました。なので、ごまの使い方、食べ方を伝えることが日本で教えるというような意味合い以上の効果をもたらすと考えることができ、講義でも多くの写真でとても楽しそうな様子を見ることができ、見ていてうれしかったです。また、最後にごまを混ぜて味が変わることを確かめるときには本当に味が変わり驚きました。また、代表の学生のごまと自分のコップに入っていたごまでも味が異なりました。3つの悩みが過去、現在、未来を表していると言うことを聞いて納得し、またその問題もおかげさまの心、ありがとうの心、世のため人のための心を持つことで解決すると言うことを知り、あまりにも飛んだ発想ではないにもかかわらずそれを実際に持って生活することの難しさを強く感じました。なので、まずはことばだけでも心に留めそれらを実践することを心がけたいと感じました。

(30)

兆しに足がつくと逃げる、兆しを手でしっかり受け止めると挑むになるということをお話しいただいて、向き合って努力することが大事だと分かりました。新しいことを始めようとする人に「そんなのは無理だ」と言う人はそれをやったことのない人だということを知り、確かにそうだなと納得しました。今回の講演を聴いて、やりたいことは何でも諦めずにやってみようと思いました。やらずに後悔するよりもやってみてダメだった方がいいなと強く思うようになりました。深堀さんの考え方や生き方は多くの人のもとは異なっていて、新鮮で私の思考の幅が広がりました。好きなゴマを作って、いろんな人とのつながりを得て、ゴマを食べるお客さんにも喜んでもらえる仕事をしている深堀さんが楽しそうでとても生き生きしていました。そのため、私も人を幸せにできるように将来仕事を頑張ろうと思います。講演を聴いて、挑戦する人が成功し、自分よりも他の人のことを優先し、人に感謝しながら生活することが大事だと学びました。私にも夢があるのでそれを実現できるように頑張る努力し、助けを必要としている人に喜んでもらえるようにしたいです。